

高齢運転者に関する施策について

愛知県議会議員 かわしま太郎

県政レポート
Vol.14

私は昨年度、自由民主党愛知県議員団の政調会長を務めておりましたが、その最後の仕事となったのが、高齢運転者の免許更新手続きの円滑化についてでありました。平成29年3月12日より施行されました改正道路交通法により、高齢運転者の免許更新手続きが複雑化し、認知機能検査や高齢者講習の受講について待ち日数が長期化されていることが問題となっておりました。自由民主党愛知県議員団として、愛知県警に実情を伝えるとともに改善策の検討を申し入れ、さまざまな改善がなされたところであります。今回の県政レポートでは、高齢運転者の免許更新についての現状をお伝えすることで、高齢運転者をめぐる課題について、ともに考えていただく機会にいただければと考えております。



愛知県議会議員
かわしま太郎

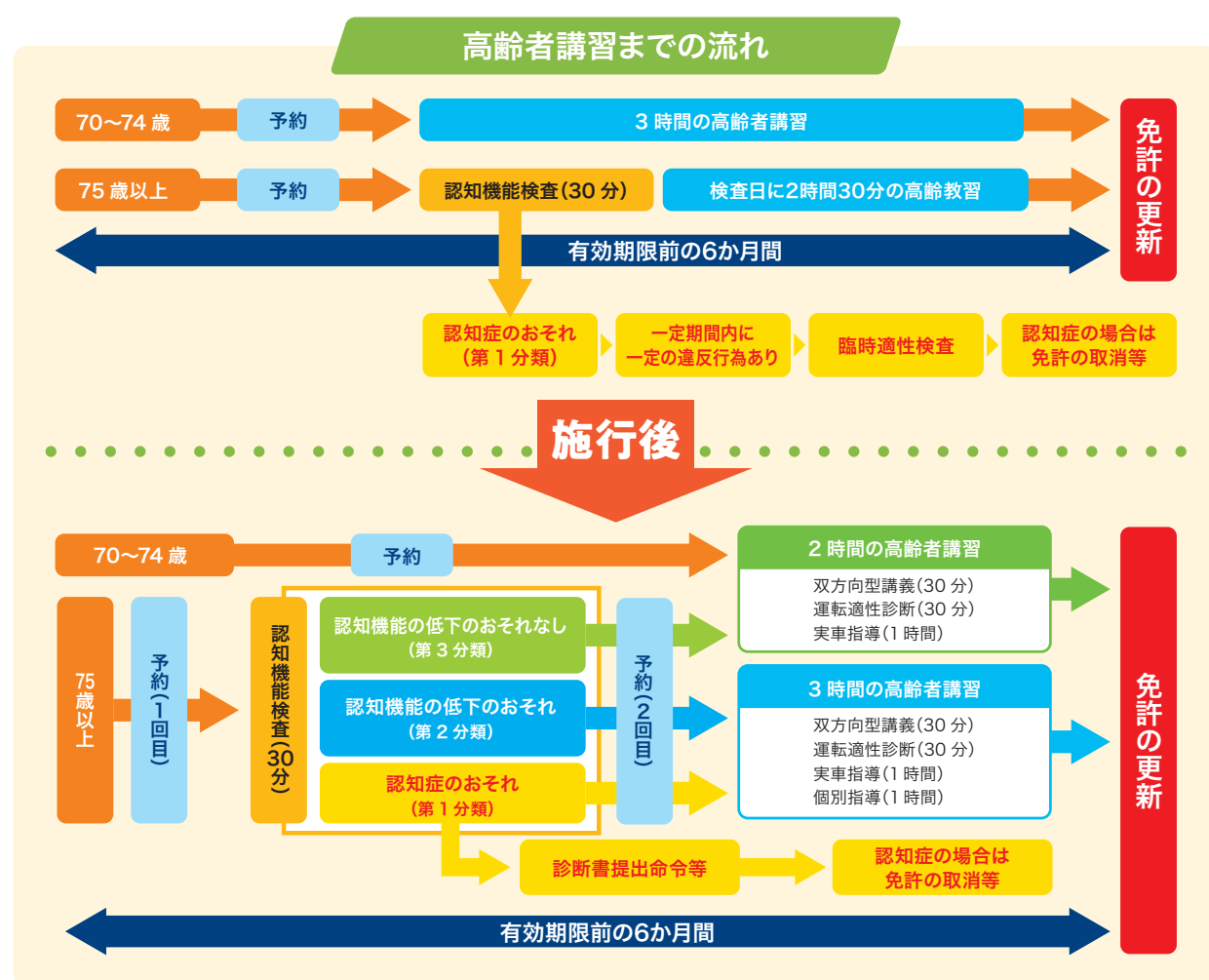
高齢運転者の運転免許更新手続きの円滑化

高齢者講習の

長期受講待ちの原因と現状

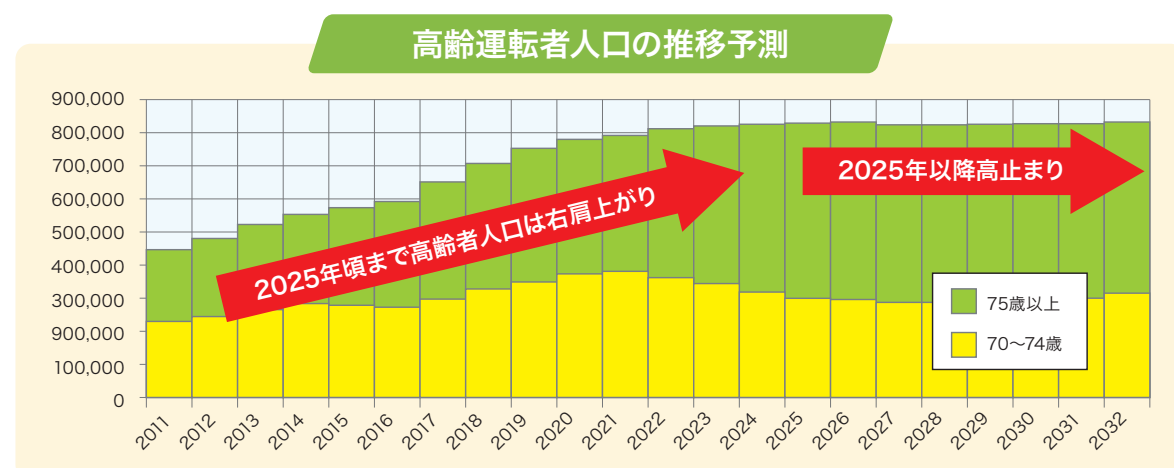
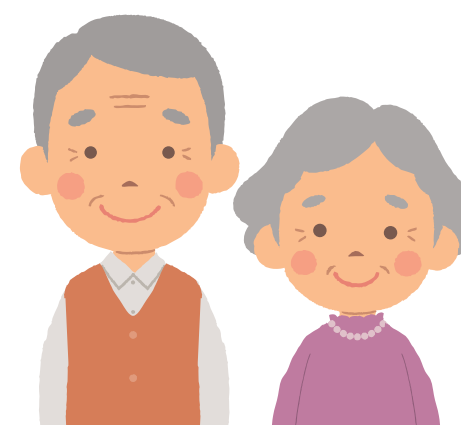
1 改正道路交通法の施行に伴う実施方法の変更や事務手続きの煩雑化

- 75歳以上の高齢運転者が受講する高齢者講習が、認知機能検査の結果により、「2時間講習」と「3時間講習」に分かれることとなった。
- 認知機能検査の結果により、講習が分かれることから、これまで「認知機能検査当日に高齢者講習」をしていたものが「後日、高齢者講習を予約して講習を受講」することとなった。
- 75歳以上の高齢運転者は、「認知機能検査の予約」「高齢者講習の予約」と2回の予約が必要となり、高齢運転者、自動車教習所の負担が増加した。



2 高齢運転者人口の増加

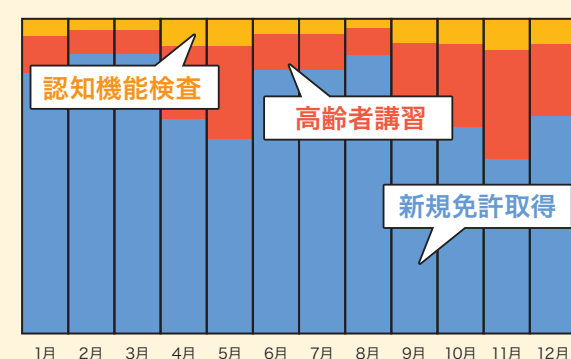
愛知県の70歳以上の高齢者免許人口は、全国で最も多く、2011年には約45万人であったが、現在も増加しており、**2025年には約82万4千人**となる予測である。70～74歳の高齢運転者は、免許の更新前に**高齢者講習**を、75歳以上の高齢運転者は、免許の更新の前に**認知機能検査**を行い、その結果に応じた**高齢者講習**を行う必要があるが、急激な高齢者免許人口の増加に、実施態勢が追いついていない。



3 自動車教習所の業務

自動車教習所は、主に新規の運転免許を取得するため、必要な技能や知識の教習を行う施設であるが、高齢者講習においては、「**高齢者が自動車を運転して行う講習(実車指導)**」を伴うことから、自動車教習所に委託している。

業務のイメージ



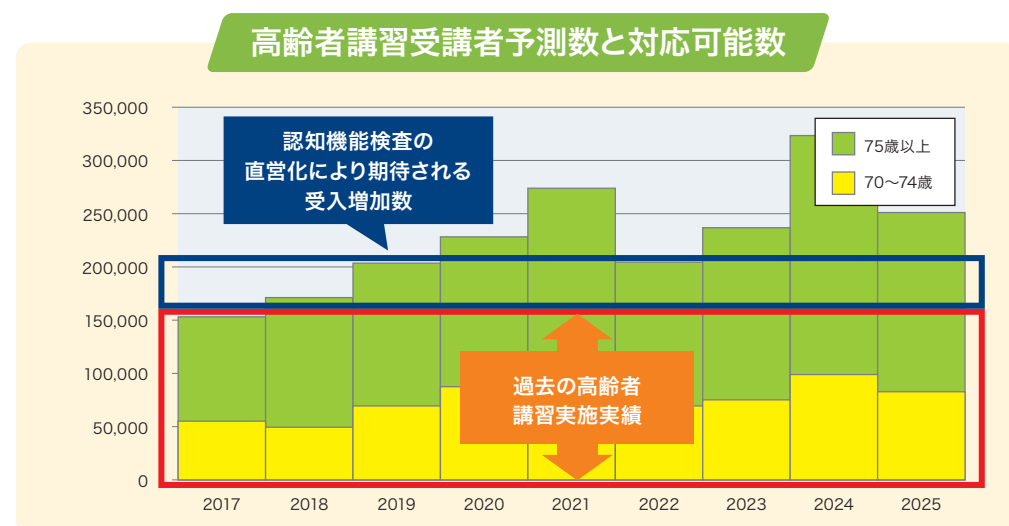
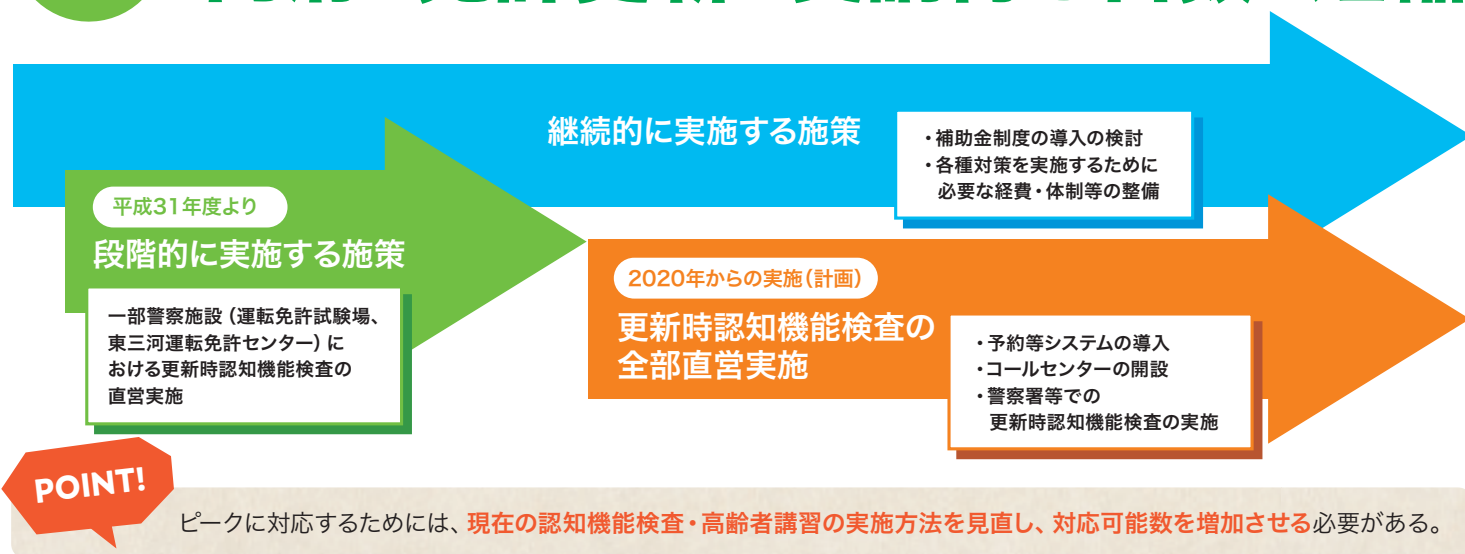
改善策

認知機能検査は自動車教習所以外の施設でも可能。自動車教習所によると、更新時認知機能検査の実施においては、予約受付の電話対応に非常に大きな労力を要し、また検査当日も受付、会場誘導、検査の説明等に労力を要しており、これを警察直営で実施できれば、より多くの高齢者講習を実施できる、とのこと。

更新時認知機能検査を運転免許試験場、東三河運転免許センター、運転免許更新窓口のある25の警察署で実施する。また、民間や行政機関の施設等においても巡回で実施する。

高齢者講習の

円滑な免許更新・受講待ち日数の短縮



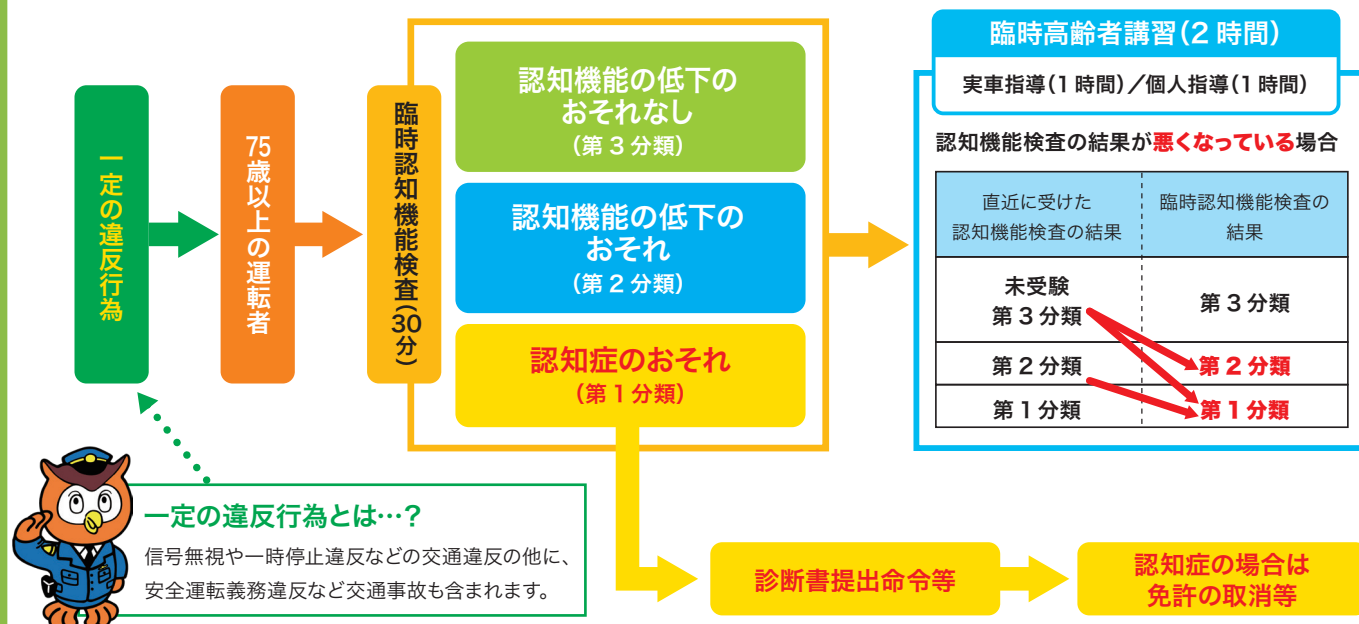
臨時認知機能検査実施場所の拡大

平成29年
3月12日施行

臨時認知機能検査・臨時高齢者講習

施行後の 内容

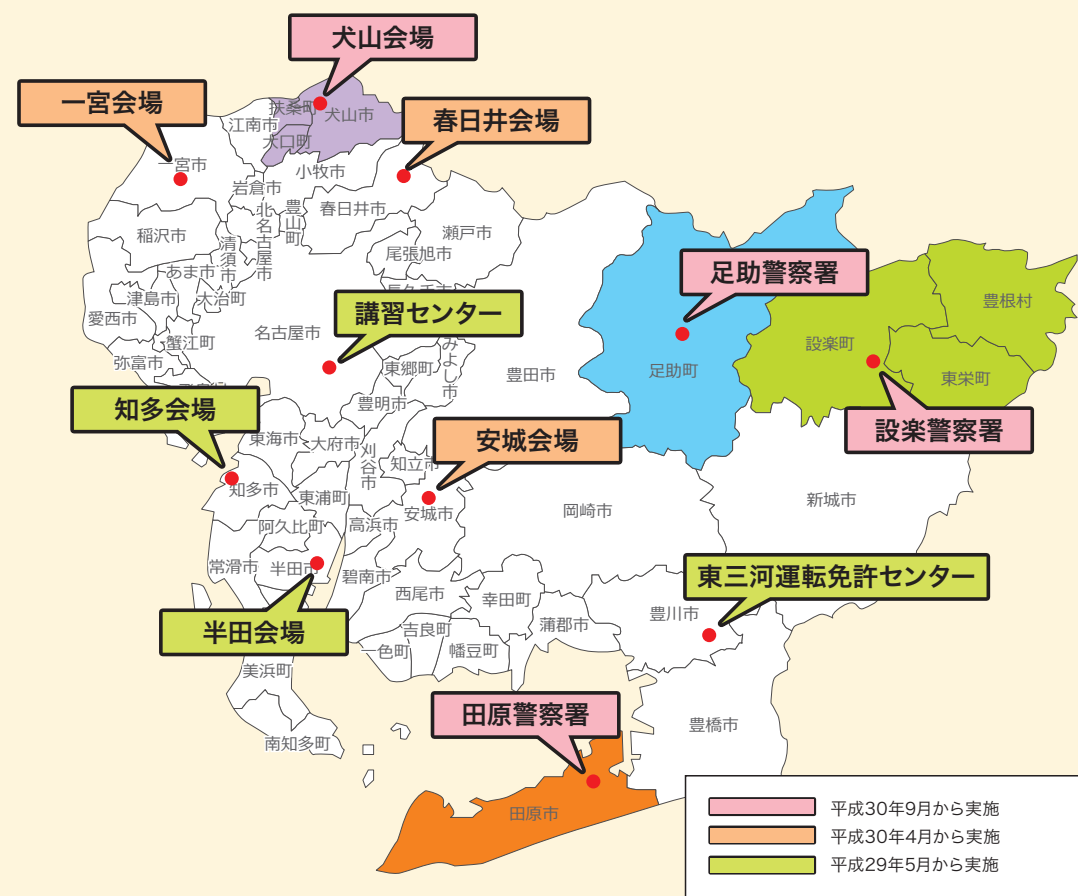
改正道路交通法施行により、75歳以上の運転者は、認知機能が低下した場合に行われやすい信号無視や一時不停止違反などの「**一定の違反行為**」があった場合に「**臨時認知機能検査**」を受検し、認知機能検査の結果が前回より悪くなっている場合等には、今後の安全運転に役立てるために「**臨時高齢者講習**」を受講することとなりました。



POINT!

対象となる高齢運転者の利便性を図るため、**平成29年度に6会場**であった臨時認知機能検査会場を**平成30年度9月から11会場**に拡大を図った。

臨時認知機能検査・実施会場



平成30年度(～8月)	講習センター	東三センター	春日井会場	一宮会場	知多会場	半田会場	安城会場				
平成30年度(9月～)	講習センター	東三センター	春日井会場	一宮会場	犬山会場	知多会場	半田会場	安城会場	足助署	設楽署	田原署

運転免許証の自主返納について

Q 自主返納できる方とは？

A 申請時に運転免許証が有効期限内で、次のいずれにも該当する方です。

- ☒ 運転免許の取消し・停止等に該当していない
- ☒ 運転免許の停止期間中でない
- ☒ 初心運転者講習の対象となっていない

申請者の
年齢は
問いません

Q 自主返納の申請には？

- A
- 持ち物 運転免許証
 - 申請場所及び時間 運転免許試験場/東三河運転免許センター
9:00～11:00 / 13:00～14:00
警察署(中部空港署を除く)
9:00～11:00 / 13:00～15:00
 - 手数料 無料
 - 交付される書類 申請による運転免許の取消通知書

注意
土・日・祝日等は
行っていません
※運転免許試験場のみ
日曜日は事前予約で
返納可能

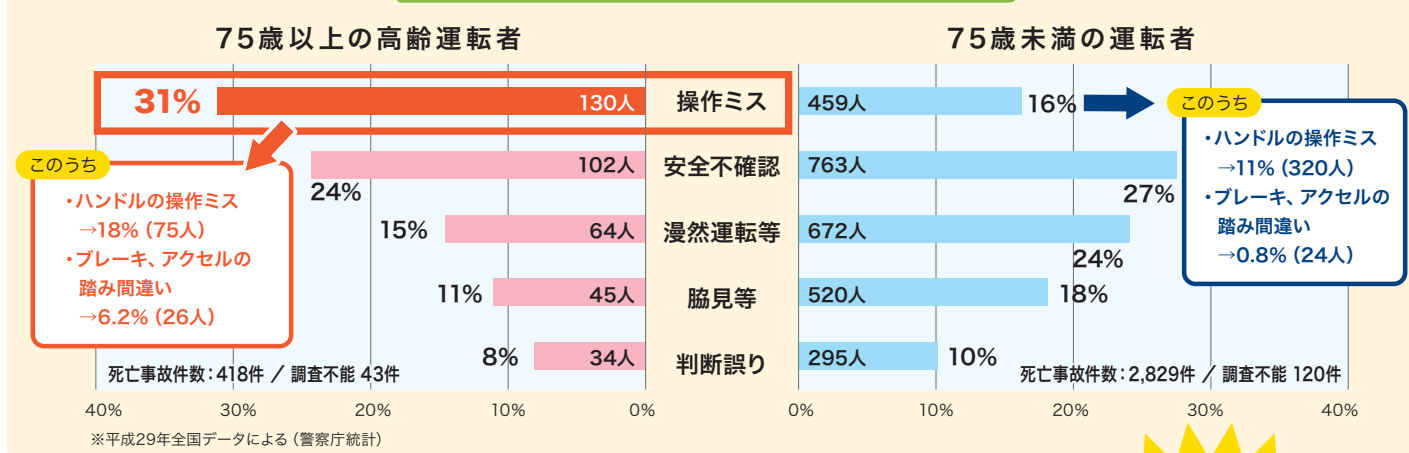
Q 身分証明書に困りませんか？

A **運転経歴証明書**を交付します。
運転経歴証明書は、身分証明書と同様に用いることができますとともに提示するとさまざまなサービスを受けることができます。
サービスはお住いの地域によって変わります。

運転経歴証明書の概要

- ・申請は自主返納して5年以内
- ・運転免許と同一サイズ
- ・本人確認書類として使用可能
- ・有効期間なし
- ・紛失等の場合には再交付可能
- ・記載事項の変更可能
- ・1,100円の手数料が必要

死亡事故(原付以上第一当事者)の原因



75歳以上の高齢運転者が起こした死亡事故原因のうち
ハンドル操作・ブレーキの踏み間違いなどの
「操作ミス」が最多!!

高齢になると、
さまざまな
身体機能の低下により、
交通事故のリスクが
高まります!!



他人事ではありません。命を守る決断を!

「運転経歴証明書」
をご存知ですか。

運転免許を自主返納して5年以内の方は、「運転経歴証明書」を申請することができます。
※認知症等と診断され、運転免許の取消処分を受けると、運転経歴証明書を申請できなくなります。



「本人確認書類」
として使えます!



更新の必要は
ありません!



再交付ができます!



商品の割引等の
特典がいっぱい!

※愛知県警察のHPに掲載

※詳しくは、最寄りの警察署交通課免許窓口等にお問い合わせください。

かわしま太郎 県政相談事務所

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。県政に関する疑問・質問もお気軽にお寄せください。
〒467-0813 名古屋市長瑞穂区西ノ割町2-25 TEL 052-842-0014 FAX 052-842-0017 E-mail taro-kawashima@etude.ocn.ne.jp